

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1122		
科目名	歴史学 2		
担当教員	清水 享		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A 日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリク（C R）との関連 A1 グローバル感覚(30%) A2 異文化適応(30%) D1 市民的素養と参加(30%) I1 理解・分析と説明(10%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義では歴史についての地域的な広がり視点である「中心」と「周辺」の問題について考察します。歴史学の課題として取り組んできた様々なテーマが「中心」の歴史であり、「周辺」からの歴史の視点が置き去りにされてきたことを考えます。また、「周辺」の歴史からの視点として地域の生態環境史の側面からも考察を進めます。歴史はダイナミックな動きがあり、「周辺」は周辺でなく、この「周辺」こそが実は中心となっていることを理解します。そして、この「周辺」からの視点として、アジアの結節点である「雲南」の生態環境史から考察を進めていきます。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業(オンデマンド型)を取り入れます。 ■キーワード 雲南・生態環境史・茶・塩・銅		
授業の趣旨	■副題 「中心」と「周辺」の問題について雲南の生態環境史から考えます。 ■授業の目的 「周辺」の地である雲南の地理と歴史を概観し、雲南が複数の世界の結節点であり、雲南からアジアの生態環境史について考えることを目的とします。 ■授業のポイント 生態環境史の概要を考察した後、雲南の茶の生産と交易の歴史に焦点を当て、さらに雲南で生産する塩とその流通の状況を見ていき、最後に雲南で生産する銅が近世の東アジア交易でも重要であったことを理解します。これにより、生態環境史から見た「周辺」に対する理解・知識を修得することができます。またこれらを通じて「中心」と「周辺」の視点、生態環境史からの歴史のダイナミズムを体得することができます。		
総合到達目標	■グローバル感覚や異文化適応と市民的素養を身につけ、それらを的確に理解・分析し、説明できるようになる。 ・歴史学という学問分野と生態環境史とアジアの結節点「雲南」を理解できるようになる。(第1～5回) ・雲南の茶・塩・銅から生態環境史を考察し、その関係性を理解できるようになる。(第6～14回) ・「周辺」においても歴史はダイナミックな動きがあることを体得できるようになる。(第15回)		
成績評価方法	■発言・質問・意見交換等の授業参加度 毎回(20%) ;適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見を述べることを評価します。 (フィードバックの方法)授業後、1週間で講評・解説をします。 ■リアクションペーパーの提出 毎回(20%) ;適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見をまとめ、記述することができるかを評価します。 (フィードバックの方法)提出後、1週間で講評・解説をします。 ■レポート 1回(60%) ;適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)レポートにおいて、明確に論点をまとめ、その視座・知識・理解・分析を記述できるかを評価します。 (フィードバックの方法)レポート提出後、レポートについての講評・解説をします。		
履修条件	特にありません。		
履修上の注意点	歴史学を学ぶことの意義を自身で考えつつ、授業に臨んで下さい。		
授業内容	回	内容	

1	①授業テーマ：歴史の「中心」と「周辺」 ②授業概要：歴史学における「中心」と「周辺」の問題を考え、これを理解できるようにする。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：歴史学がいかなる学問分野であるか調べる。④復習(120分)：歴史における「中心」と「周辺」の問題を整理する。
2	①授業テーマ：生態環境史 ②授業概要：歴史学における生態環境史について学び、これを理解できるようにする。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：歴史学という学問の概要と生態環境の歴史とは何か調べる ④復習(120分)：歴史学の概要と生態環境史の視点について整理する。
3	①授業テーマ：雲南の地理と歴史1 ②授業概要：雲南の地理的概況と周辺世界との関わりを学び、これを理解できるようにする。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の地理的概況について調べる。④復習(120分)：雲南の地理とそれを取り巻く周辺世界について整理する。
4	①授業テーマ：雲南の地理と歴史2 ②授業概要：雲南の歴史についてその概要を学び、これを理解できるようにする。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の歴史の大まかな流れについて調べる。④復習(120分)：雲南の歴史の概要について整理する。
5	①授業テーマ：雲南の地理と歴史3 ②授業概要：雲南に居住する「少数民族」の文化・社会について学び、これを理解できるようにする。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の「少数民族」の概要について調べる。④復習(120分)：雲南の「少数民族」の文化・社会の概要について整理する。
6	①授業テーマ：雲南の茶1 ②授業概要：茶の概要とその歴史を学び、これを理解できるようにする。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：茶がどのようなものであるのか調べる。④復習(120分)：茶の概要と茶の歴史について整理する。
7	①授業テーマ：雲南の茶2 ②授業概要：雲南における茶の歴史を学び、これを理解できるようにする。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南で産する茶について調べる。④復(120分)習：雲南の茶の概要とその歴史について整理する。
8	①授業テーマ：雲南の茶3 ②授業概要：雲南の茶とチベットとの交易について学び、これを理解できるようにする。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南とチベットの交易について調べる。④復習(120分)：雲南の茶とチベットとの交易について整理する。
9	①授業テーマ：雲南の塩1 ②授業概要：塩の概要とその歴史を学び、これを理解できるようにする。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：塩がどのようなものか調べる。④復習(120分)：塩の概要を塩に関わる歴史について整理する。
10	①授業テーマ：雲南の塩2 ②授業概要：雲南での塩の生産の歴史と生態環境への影響について学び、これを理解できるようにする。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の塩の生産地について調べる。④復習(120分)：雲南の塩の生産の歴史を整理する。
11	①授業テーマ：雲南の塩3 ②授業概要：雲南の周辺における塩の生産について学び、これを理解できるようにする。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の周辺での塩の生産地について調べる。④復習(120分)：雲南の周辺の塩の生産について整理する。
12	①授業テーマ：雲南の銅1 ②授業概要：雲南の古代文化と青銅器について学び、これを理解できるようにする。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：雲南の古代文化について調べる。④復習(120分)：雲南の古代文化と青銅器について整理する。
13	①授業テーマ：雲南の銅2 ②授業概要：雲南の銅の生産の歴史について学び、これを理解できるようにする。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：中国と日本の鉱山開発について調べる。④復習(120分)：雲南の銅生産の概要を整理する。
14	①授業テーマ：雲南の銅3 ②授業概要：雲南の銅と東アジアの関わりについて学び、これを理解できるようにする。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：アジアの銅の生産について調べる。③復習(120分)：雲南の銅と東アジアとの関わりについて整理する。
15	①授業テーマ：歴史のダイナミックな流れ 授業内テスト ②授業概要：生態環境史からみた「周辺」とされた雲南の歴史ををまとめ、全体としてこれを理解できるようにする。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：茶・塩・銅から見た雲南がどのようなものであったかまとめる。④復習(120分)：雲南を通して見た生態環境史を整理する。
関連科目	歴史学1(RMGT/SSCS1121)・近代史1(RMGT/SSCS1123)・近代史2(RMGT/SSCS1124)
教科書	上田信『東ユーラシアの生態環境史』山川出版社
参考書・参考URL	川野明正『雲南の歴史 アジア十字路に交錯する多民族世界』白帝社。授業中に参考プリントを配布します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜3時限。それ以外も研究室在室時に対応することもできます。
研究比率	

